



江崎 貴大 議員  
民進党

## 問 消防団活動支援への取り組みは？

## 答 県との連携も考えながら応援



▲訓練に励む消防団員

**問** 地域の役員、消防団の担い手が少なくなりつつある。そのような中、企業の消防団活動への理解が必要である。

**答** 消防団協力事業所表示制度の利用、支援策の検討は。

**総務部長** 愛知県では「あいち消防団応援の店事業」を検討中。まずは愛知県との連携を考え、消防団の応援をしていきたい。

**問** 団員となる個人の意識も変わりつつある。団員個人に対する減税など支援策の検討は。

**総務部長** 国民の税

負担の適正化、住民負担の均衡化から、減税や税の控除は難しい。市では消防団員に対しての報酬、訓練・

出勤の際の費用弁償支給を行っている。

**問** 稲沢市では「ガンバレ消防団応援事業所」を設定し、地元商工会と協力して団員に特典サービスを提供する制度を作り、盛り上げている。

**答** 商工会に働きかける考えはないか。

**総務部長** 稲沢市を参考にしていきたい。

**問** 障がい者雇用に対する取り組みは？

**答** 新たな雇用の創出に取り組む

**問** 福祉協議会は採用がない。市役所での障がい者雇用状況は。

**総務課長** 一般事務2名、用務員2名の計4名。法定雇用率は達成している。

**問** 身体、知的、精神障がい者の内訳は。

**総務課長** 身体障がい者3名、知的障がい者1名である。

**問** 増加傾向にある精神障がい者の雇用に関して、これまでどのように検討されたのか。

今後どのように検討していくのか。

**総務課長** 受け入れ体制の整備、特性に合う業務を検討し募集していた。

今後、特性に合う業務を検討し、新たな雇用の創出に取り組む。

**問** 市内の企業での障がい者雇用状況は。

**商工観光課長** 50人以上の企業25社中、11社が法定雇用率を達成している（6月1日現在）。

**問** 市と提携している法人での障がい者雇用状況は。

**商工観光課長** 福祉会（輪中の郷）で4名、シルバー人材センター、社会